

今がんばってます

前浜中学校

篠笛で新たな伝統づくり

創立10周年のとき、篠笛奏者の狩野泰一さんから前浜中オリジナルのお囃子をつくっていただき、篠笛や太鼓、チャップなどの和楽器を使って演奏しています。

生徒は春から秋にかけて、週に2日の練習と年3回、狩野さんから指導を受けて篠笛演奏の技術を高めています。毎年、生徒が話し合って演奏の隊形や動きを創作し、前浜小の児童とともに運動会や文化祭などで地域に披露します。



生徒に指導する狩野泰一さん



文化祭での篠笛演奏発表

篠笛はおけさや甚句、歌舞伎など地域の伝統芸能に欠かせません。

また、J-POPを篠笛で奏することで洋楽器とは異なる曲調を味わうこともできます。伝統の継承に役立つとともに、新たな感覚で新たな伝統を築こうとしています。

篠笛演奏を始めて15年が過ぎ、篠笛を吹ける卒業生も増え、運動会で児童生徒とOBのコラボも企画しています。新たな伝統として根付いてくれるとうれしいです。

◎学校教育課 ☎58-7351

市立病院から こんにちは

「二十歳の介護保険」

両津病院 猪股医療介護連携室長

20年になります。

先日「病院から介護認定を受けよう」と勧められたけれど、次にどうしたらよいかわかりません」と相談に来られた方がいらっしやいました。介護保険という名前がご存知でも、実際の困りごとが起これなければ、利用方法は詳しくわからないのも当然です。確かに、介護保険は社会情勢に合わせて、定期的に改正を繰り返しています。そうなると、困ったときに近くの地域包括支援センターや介護支援専門員（ケアマネジャー）のいる事業所に相談すると良いかもしれません。

この介護支援専門員という職種は、介護保険制度と一緒に登場しました。介護保険サービスを利用するためにはケアプランを作成しなくてはなりません。そのケアプランを作成するのが、介護支援専門員の役割の一つです。

ケアプランの冒頭部分には、自分が要介護状態になっても、どのような生活を過ごしていきたいかを記載する「利用者および家族の生活に対する意向」という欄があります。ケアプランはその方の生活を支える計画です。ぜひ今のうちから、ご自分とご家族の望む生活を一緒に話し合ったり、ご自分の言葉として記録に残しておくことをお勧めします。それをもとにして、介護支援専門員と一緒にケアプランを作成していくと良いと思います。

